

先輩の声

企画・間接部門で活躍中の先輩たち



永井 絵梨南
Erina Nagai

北海道電力(株)
資材部
泊資材グループ
2011年入社
情報処理科卒

私の所属する資材部は、弊社が事業活動を行う上で必要となる資機材の「調達」を行う部署です。案件の特性に応じ、競争見積もりなど戦略的な取り組みを行い、調達コストの低減を図ることが資材部の役割です。資機材調達は、コピー用紙やプリンターナーなどの一般的な事務用品から、火力・水力・原子力などの発電設備といった大規模なものまで、さまざまなものが対象となります。資材部の仕事は、「調達コストの低減」という目に見える形で成果が表れることから、コスト低減に繋がる提案や交渉ができたときには達成感ややりがいを感じます。

弊社は全道各地に事業所があり、他部門の社員から電話で問い合わせを受けることが多いため、電話対応は親切・丁寧な対応を心掛けています。問い合わせ内容について、正確な回答をすることはもちろんですが、コスト低減に繋がる提案など、資材部の目線から何か役に立てることはないかを考えながら対応をしています。

資材部の社員は、20代～50代までと年齢層が幅広いことから、自分から積極的にコミュニケーションをとることを心掛けています。自分からコミュニケーションをとることで、日常会話から仕事のアドバイスをいただくこともあり、仕事上の関係もスムーズになったと感じています。

アフター5は、職場の上司・同僚と食事に行ったりしています。休日は、社会貢献活動として除雪活動やゴミ拾いなどのボランティアにも参加することもあります。また、高校生のときに取得した資格について、改めて勉強をしたいと思い通信教育を受講しています。



電話対応の様子



中屋 健汰
Kenta Nakaya

北海道電力ネットワーク(株)
苫小牧支店電力部
用地グループ
2016年入社
会計ビジネス科卒

私の所属する用地グループでは、お客さまに電気をお届けするために必要となる送電線、変電所などの流通設備用地の取得・管理を行っています。

現在、私は先輩方の指導を受けながら、土地所有者の方から土地の取得または使用に関するご協力をいただくための交渉や法令上必要となる手続きを担当しています。

全てが順調に行くとは限りませんが、土地所有者の方々からご理解を得られたとき、また、新たな業務を処理できるようになったときに仕事に対するやりがいを感じています。

もっと早く成長したいとの思いから、通信教育を通して知識習得にも取り組んでいます。社外の方々との対応が多いため、相手の気持ちや立場を理解した上で対応すること、相手に好印象を与えるための身だしなみや振る舞いを常日頃から心掛けています。

プライベートでは、先輩・同期社員との交流はもとより、町主催の職場対抗野球大会への参加や社外のバレーボールチームでの活動を通して、地域の方々と交流するなど充実した日々を過ごしています。



現地確認の様子



犬山 響紀
Hibiki Inuyama

北海道電力ネットワーク(株)
帯広支店業務部
企画総務グループ
2012年入社
未来商学科卒

私は、入社3年目で販売、業務部門から企画・間接部門である企画総務グループへ人事異動となりました。私が主に担当しているのは安全衛生業務です。この業務では、社員が仕事に対して安全・健康に取り組めるように、労働災害や健康障害の防止に向けた活動などを行います。例えば、冬道における安全運転や食中毒についての講習会を開いたり、職場の安全点検や作業現場の安全パトロールを定期的に行っています。これらの仕事の他に、帯広支店の建物の水道料金の支払いや、社外から届いた郵便物の仕分けなどの庶務関係の業務も担当しています。

企画総務グループでは、社員からさまざまな問合せが寄せられるため、わかりやすく丁寧に答えることを心掛けています。今後は広報関係などの対外的な仕事にもチャレンジしたいと思っています。

プライベートでは、同期や先輩・後輩と食事に行ったり、天気の良い日はドライブをしています。また、地元に戻って甥っ子と遊ぶのも楽しみの一つです。

高校生活では、普段から家族や友人はもちろん、部活の先輩・後輩や先生方に挨拶をすることを心掛けてください。社会人になると挨拶は基本中の基本になります。元気に挨拶をされた側はとても気持ちが良いものです。是非そういった社会人を目指してください。



職場の安全点検